

令和6年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 3年	科目名	リハビリテーション医学	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験	鍼灸院にて施術業務経験6年	担当者	早野 大孝	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	リハビリテーション医学における基本的知識を基に、各疾患におけるリハビリテーションを理解する。			評価方法			
授業概要	教科書をベースとした資料を作成、配布し講義を進行する。 リハビリテーションの基礎のうち障害学、疾患別リハビリテーションを理解する。			期末試験 85% その他(出席状況、授業態度等) 15% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	リハビリテーション医学	使用器材	液晶プロジェクター、教科書及び配布資料				
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	第2章 各疾患のリハビリテーション(関節リウマチのリハビリテーション 1)						
第2週	第2章 各疾患のリハビリテーション(関節リウマチのリハビリテーション 2)						
第3週	第2章 各疾患のリハビリテーション(末梢神経障害のリハビリテーション 1)						
第4週	第2章 各疾患のリハビリテーション(末梢神経障害のリハビリテーション 2)						
第5週	第2章 各疾患のリハビリテーション(パーキンソン病のリハビリテーション 1)						
第6週	第2章 各疾患のリハビリテーション(パーキンソン病のリハビリテーション 2)						
第7週	第2章 各疾患のリハビリテーション(呼吸器疾患のリハビリテーション 1)						
第8週	第2章 各疾患のリハビリテーション(呼吸器疾患のリハビリテーション 2)						
第9週	第2章 各疾患のリハビリテーション(心疾患のリハビリテーション 1)						
第10週	第2章 各疾患のリハビリテーション(心疾患のリハビリテーション 2)						
第11週	総復習 1						
第12週	総復習 2						
第13週	総復習 3						
第14週	総復習 4						
第15週	総復習 5						
授業外 学習指示等	講義に関与する解剖学・生理学の復習。講義内容の復習。						

令和6年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 3年	科目名	きゅう理論	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験		担当者	太田 和宏	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	主にきゅうに関する基礎的知識、リスクマネジメント、治効メカニズムについて説明できる。			評価方法			
授業概要	教科書、および教科書をベースにしたプリント、スライドを用い講義を行う。			期末試験 100% ※出席状況等を加味する場合もある (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	はりきゅう理論	使用器材	プロジェクター・白板				
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	第5章 灸の基礎知識 ①						
第2週	第5章 灸の基礎知識 ②						
第3週	第6章 灸術の種類 ①						
第4週	第6章 灸術の種類 ②						
第5週	第7章 リスク管理(きゅう) ①						
第6週	第7章 リスク管理(きゅう) ②						
第7週	第7章 リスク管理(きゅう) ③						
第8週	第9章 鍼灸治効機序①						
第9週	第9章 鍼灸治効機序②						
第10週	第9章 鍼灸治効機序③						
第11週	第9章 鍼灸治効機序④						
第12週	第9章 鍼灸治効機序⑤						
第13週	第10章 鍼灸治効機序と臨床との接点①						
第14週	第10章 鍼灸治効機序と臨床との接点②						
第15週	第10章 鍼灸治効機序と臨床との接点③						
授業外 学習指示等	1 講義に臨む前に教科書の該当箇所を読んでおき、分からない所があればそれらを書き出しておくこと 2 復習は、特にその日の授業の重要事項をその日のうちに振り返ること						

令和6年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 3年	科目名	臨床医学各論Ⅲ	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験	鍼灸院にて施術業務経験6年	担当者	早野 大孝	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	現代医学的観点から疾患の疫学、病因、病態生理、検査、症状、治療法、予後を理解する。			評価方法			
授業概要	教科書をベースとした資料を作成、配布し講義を進行する。習得した基礎医学から臨床医学の概要を理解する。			期末試験 85% その他(出席状況、授業態度等) 15% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	臨床医学各論	使用器材	液晶プロジェクター、教科書及び配布資料				
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	第12章 リウマチ性疾患・膠原病 1						
第2週	第12章 リウマチ性疾患・膠原病 2						
第3週	第12章 リウマチ性疾患・膠原病 3						
第4週	第13章 その他の領域 1						
第5週	第13章 その他の領域 2						
第6週	第13章 その他の領域 3						
第7週	第13章 その他の領域 4						
第8週	第13章 その他の領域 5						
第9週	総復習 1						
第10週	総復習 2						
第11週	総復習 3						
第12週	総復習 4						
第13週	総復習 5						
第14週	総復習 6						
第15週	総復習 7						
授業外学習指示等	講義に関与する解剖学・生理学の復習。講義内容の復習。						

令和6年度

授業計画書

学科・学年	鍼灸学科 3年	科目名	東洋医学臨床論はりきゅう (東洋医学編)Ⅱ	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験		担当者	柗木 明子	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	1. その他の症候に関するⅠ～Ⅳまでの鍼灸療法が説明できる。 2. 小児の症候に関するⅠ～Ⅲまでの鍼灸療法が説明できる。 3. 老年特有の症候に関するⅠ～Ⅱまでの鍼灸療法が説明できる。			評価方法			
授業概要	東洋医学概論の概念・解説を含みながら、主要症候の病因病機を理解し、鍼灸治療が行えるようになる為の東洋医学領域の基礎知識の整理、問題演習等を教授する。			期末試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	新版 東洋医学概論、 東洋医学臨床論(はりきゅう編)、 配布プリント	使用器材	PC、液晶プロジェクター、白板				
週	授業項目・内容						実施結果
第1週	治療各論 第4節 その他の症候 Ⅰ. 顔面麻痺 (配布プリント参照)						
第2週	Ⅱ. 歩行異常 (配布プリント参照)						
第3週	治療各論に対する鍼灸療法のまとめ・復習						
第4週	Ⅲ. 口渇 (配布プリント参照)						
第5週	Ⅳ. 出血傾向 (配布プリント参照)						
第6週	治療各論に対する鍼灸療法のまとめ・復習						
第7週	治療各論 第6節 小児の症候 Ⅰ. 概説 (配布プリント参照)						
第8週	Ⅱ. 小児神経症 (配布プリント参照)						
第9週	Ⅲ. 夜尿症 (配布プリント参照)						
第10週	治療各論に対する鍼灸療法のまとめ・復習						
第11週	治療各論 第7節 老年特有の症候 Ⅰ. 概説 (配布プリント参照)						
第12週	Ⅱ. 認知症 (配布プリント参照)						
第13週	治療各論に対する鍼灸療法のまとめ・復習						
第14週	第1章 総論 復習 (配布プリント参照)						
第15週	第2章 各論 復習 (配布プリント参照)						
授業外 学習指示等	1 講義に臨む前に教科書の該当箇所を読んでおき、判らない所があったらそれを書き出しておくこと。 2 復習は授業の重要事項をその日の内に振り返ること。						

令和6年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 3年	科目名	東洋医学臨床論はりきゅう (西洋医学論)Ⅱ	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験	鍼灸院にて施術業務経験6年	担当者	早野 大孝	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	臨床で、遭遇する頻度が高い疾患の西洋医学的な知識を理解する。 また、各疾患に対する現代西洋医学的な鍼灸治療法を学ぶ。			評価方法			
授業概要	教科書をベースとした資料を作成、配布し講義を進行する。 習得した基礎医学から臨床医学における各疾患を理解する。			期末試験 85% その他(出席状況、授業態度等) 15% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	東洋医学臨床論(はりきゅう編)	使用器材	液晶プロジェクター、教科書及び配布資料				
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	第2章 第3節 まとめ 1						
第2週	第2章 第3節 まとめ 2						
第3週	第2章 第4節 まとめ 1						
第4週	第2章 第4節 まとめ 2						
第5週	第2章 第5節 まとめ 1						
第6週	第2章 第5節 まとめ 2						
第7週	第2章 第6節 まとめ						
第8週	第2章 第7節 まとめ						
第9週	総復習 1						
第10週	総復習 2						
第11週	総復習 3						
第12週	総復習 4						
第13週	総復習 5						
第14週	総復習 6						
第15週	総復習 7						
授業外 学習指示等	講義に関与する解剖学・生理学の復習。講義内容の復習。						

令和6年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 3年	科目名	病態生理学	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験		担当者	柘木 明子	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	1. 鍼灸治療の原則が説明できる 2. 頭痛～老年者の疾患までの鍼灸療法が説明できる。 3. 1と2における鍼灸療法に関する問題演習が理解できる。			評価方法			
授業概要	病態生理学を学ぶことにより、人体の正常な構造が異常をきたすと、身体の調節機能が破綻し色々な症状が現れる事を知り、鍼灸師としての基礎学力をつける。主要症候の病因病機を理解し、鍼灸治療が行えるようになるための東洋医学領域の基礎知識の整理、問題演習等を教授する。			期末試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	新版 東洋医学概論、 東洋医学臨床論(はりきゆう編)、 配布プリント	使用器材	PC、液晶プロジェクター、白板				
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	主要症候における鍼灸療法に関する講義と問題①						
第2週	主要症候における鍼灸療法に関する講義と問題②						
第3週	主要症候における鍼灸療法に関する講義と問題③						
第4週	主要症候における鍼灸療法に関する講義と問題④						
第5週	主要症候における鍼灸療法に関する講義と問題⑤						
第6週	主要症候における鍼灸療法に関する講義と問題⑥						
第7週	主要症候における鍼灸療法に関する講義と問題⑦						
第8週	主要症候における鍼灸療法に関する講義と問題⑧						
第9週	主要症候における鍼灸療法に関する講義と問題⑨						
第10週	主要症候における鍼灸療法に関する講義と問題⑩						
第11週	主要症候における鍼灸療法に関する講義と問題⑪						
第12週	主要症候における鍼灸療法に関する講義と問題⑫						
第13週	主要症候における鍼灸療法に関する講義と問題⑬						
第14週	主要症候における鍼灸療法に関する講義と問題 復習						
第15週	まとめ						
授業外 学習指示等	1 講義に臨む前に教科書の該当箇所を読んでおき、判らない所があったらそれを書き出しておくこと。 2 復習は授業の重要事項をその日の内に振り返ること。						

令和6年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 3年	科目名	生体観察	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験	鍼灸院で施術業務に従事中	担当	佐藤 尚子	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	1. 東洋医学の基本的な生理・病理が理解できる。 2. 症状から病因病機を想起できる。 3. 東洋医学の考えに基づき、病態把握ができる。 4. 病態に適した治療方針がたてられる。			評価方法			
授業概要	東洋医学に基づく病態把握について講義し、問題演習を行う。			定期試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	新版東洋医学概論、新版東洋医学臨床論(はりきゅう編)、新版経絡経穴概論	使用器材	プロジェクター				
週	授 業 項 目 ・ 内 容			実施結果			
第1週	東洋医学に基づく鍼灸臨床						
第2週	治療穴とその応用						
第3週	蔵象①肝系統						
第4週	臓腑と関連する症候①肝系統						
第5週	蔵象②心系統						
第6週	臓腑と関連する症候②心系統						
第7週	蔵象③脾系統						
第8週	臓腑と関連する症候③脾系統						
第9週	蔵象④肺系統						
第10週	臓腑と関連する症候④肺系統						
第11週	蔵象⑤腎系統						
第12週	臓腑と関連する症候⑤腎系統						
第13週	東洋医学に基づく女性特有の生理的特徴						
第14週	女性特有の症候						
第15週	小児・老年特有の症候						
授業外学習指示等	東洋医学概論を復習し、東洋医学的に基づく考え方を習得しておくこと。						

令和6年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 3年	科目名	臨床はりきゅう実技 VII	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験		担当者	加藤 孝紹	授業方法	実習	単位数	1
到達目標	特殊鍼法を学び、臨床における基本的な施術以外に、患者の必要性に合わせた施術技術を修得する。			評価方法			
授業概要	応用的な臨床技術を通じて、取穴部位、局所解剖などを復習する。また、治療者としての手や指を作り、基礎的な患者対応を学ぶ。			定期試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	配布資料	使用器材					
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	基礎と応用の確認 ①						
第2週	基礎と応用の確認 ②						
第3週	特殊鍼法 ①						
第4週	特殊鍼法 ②						
第5週	特殊鍼法 ③						
第6週	特殊鍼法 ④						
第7週	特殊鍼法 ⑤						
第8週	特殊鍼法 ⑥						
第9週	特殊鍼法 ⑦						
第10週	特殊鍼法 ⑧						
第11週	臨床応用 ①						
第12週	臨床応用 ②						
第13週	臨床応用 ③						
第14週	臨床応用 ④						
第15週	まとめ						
授業外 学習指示等							

令和6年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 3年	科目名	臨床実習（後期）	授業時期	後期	授業時数	45
実務経験	鍼灸院にて施術業務経験6年	担当者	早野 大孝	授業方法	実習	単位数	1
到達目標	臨床にとって必要な知識を向上させ、具体的な症例から疾患を理解する。			評価方法			
授業概要	具体的な症例を用いた症例検討を行う。 資料を作成、配布し講義を進行する。 習得した基礎医学から臨床医学における各疾患を理解する。			期末試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等		使用器材	配布資料				
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	概説 1						
第2週	概説 2						
第3週	概説 3						
第4週	症例検討:感染症 1						
第5週	症例検討:感染症 2						
第6週	症例検討:消化管疾患 1						
第7週	症例検討:消化管疾患 2						
第8週	症例検討:肝・胆・膵疾患 1						
第9週	症例検討:肝・胆・膵疾患 2						
第10週	症例検討:呼吸器疾患 1						
第11週	症例検討:呼吸器疾患 2						
第12週	症例検討:腎・尿器疾患 1						
第13週	症例検討:腎・尿器疾患 2						
第14週	症例検討:内分泌疾患 1						
第15週	症例検討:内分泌疾患 2						
第16週	症例検討:代謝・栄養疾患 1						
第17週	症例検討:代謝・栄養疾患 2						
第18週	症例検討:循環器疾患 1						
第19週	症例検討:循環器疾患 2						
第20週	症例検討:血液・造血器疾患 1						
第21週	症例検討:血液・造血器疾患 2						
第22週	症例検討:神経疾患 1						
第23週	症例検討:神経疾患 2						
第24週	症例検討:神経疾患 3						
第25週	症例検討:神経疾患 4						
第26週	症例検討:リウマチ性疾患・膠原病						
第27週	症例検討:その他の領域 1						
第28週	症例検討:その他の領域 2						
第29週	症例検討:その他の領域 3						
第30週	まとめ						
授業外 学習指示等	講義に関与する解剖学・生理学・臨床医学総論・臨床医学各論の復習。講義内容の復習。						

令和6年度

授業計画書

学科・学年	鍼灸学科 3年	科目名	総合領域 I	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験	鍼灸院にて施術業務に従事中	担当者	星野英二	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	1・2年で学習した解剖学を中心に生理学・臨床医学各論などの総復習を行う。 科目間の連携をはかり、鍼灸師として必要な知識を身につける。			評価方法			
授業概要	解剖学・生理学・臨床医学各論・東洋医学臨床論(西洋医学)等の分野で国家試験に出題された項目を重点的に振り返り、鍼灸師として必要な知識を深める。			期末試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	解剖学 臨床医学各論	使用器材	液晶プロジェクター				
週	授業項目・内容						実施結果
第1週	内分泌系 [下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体] (各ホルモンの生理作用、内分泌疾患)						
第2週	内分泌系 [副腎、膵臓、性腺] (各ホルモンの生理作用、内分泌疾患)						
第3週	神経系 [神経系の構成、大脳] (各ホルモンの生理作用、内分泌疾患)						
第4週	神経系 [間脳、中脳、橋、延髄、小脳、脊髄] (パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症)						
第5週	神経系 [脳室系、髄膜、脳脊髄液、脳の血管]						
第6週	神経系 [上行性伝導路、下行性伝導路] (ブラウンセカール症候群)						
第7週	神経系 [脳神経] (顔面神経麻痺)						
第8週	神経系 [脊髄神経、自律神経] (絞扼性末梢神経麻痺、ホルネル徴候)						
第9週	感覚器系 [視覚器] (緑内障、白内障)						
第10週	感覚器系 [平衡・聴覚器] (突発性難聴、メニエール病、良性発作性頭位めまい症)						
第11週	整形外科疾患 [関節疾患、骨代謝・骨腫瘍]						
第12週	整形外科疾患 [筋・腱疾患、形態異常]						
第13週	整形外科疾患 [脊椎疾患]						
第14週	整形外科疾患 [スポーツ外傷]						
第15週	整形外科疾患 [その他の整形外科疾患]						
授業外学習指示等	復習は、特にその日の授業の重要事項をその日のうちに振り返ること。						

令和6年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 3年	科目名	総合領域Ⅱ	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験	鍼灸院開設(経験年数14年)	担当者	堀之内 貴一	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	鍼灸臨床の鑑別や病態把握に必要な身体現象を把握し、説明できるようにする。			評価方法			
授業概要	身体現象を把握するためにこれまでに習った生理学をさらに深く学び、病態把握・理解に結びつける。			期末試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	生理学	使用器材	液晶プロジェクター				
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	病態把握・理解 内分泌①						
第2週	病態把握・理解 内分泌②						
第3週	病態把握・理解 内分泌③						
第4週	病態把握・理解 生殖						
第5週	病態把握・理解 成長と老化						
第6週	病態把握・理解 神経①						
第7週	病態把握・理解 神経②						
第8週	病態把握・理解 運動①						
第9週	病態把握・理解 運動②						
第10週	病態把握・理解 運動③						
第11週	病態把握・理解 感覚①						
第12週	病態把握・理解 感覚②						
第13週	病態把握・理解 防御機構						
第14週	病態把握・理解 協調						
第15週	まとめ						
授業外 学習指示等							

令和6年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 3年	科目名	総合領域Ⅲ	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験		担当者	柗木 明子	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	1. 新版 東洋医学概論における第1章～第3章までの概念が説明できる。 2. 新版 東洋医学概論における第1章～第3章までの問題演習が理解できる。			評価方法			
授業概要	東洋医学概論の概念・解説を含みながら、主要症候の病因病機を理解し、鍼灸治療を行えるようになる為の東洋医学領域の基礎知識の整理、問題演習等を教授する。			期末試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	新版 東洋医学概論、 東洋医学臨床論(はりきゅう編)、配布プリント	使用器材	PC、液晶プロジェクター、白板				
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	基礎はり学・きゅう学における東洋医学概論に関する講義と問題 伝統鍼灸基礎理論①						
第2週	基礎はり学・きゅう学における東洋医学概論に関する講義と問題 伝統鍼灸基礎理論②						
第3週	基礎はり学・きゅう学における東洋医学概論に関する講義と問題 伝統鍼灸基礎理論③						
第4週	基礎はり学・きゅう学における東洋医学概論に関する講義と問題 伝統鍼灸基礎理論④						
第5週	基礎はり学・きゅう学における東洋医学概論に関する講義と問題 伝統鍼灸基礎理論⑤						
第6週	基礎はり学・きゅう学における東洋医学概論に関する講義と問題 伝統鍼灸基礎理論⑥						
第7週	基礎はり学・きゅう学における東洋医学概論に関する講義と問題 伝統鍼灸基礎理論⑦						
第8週	基礎はり学・きゅう学における東洋医学概論に関する講義と問題 伝統鍼灸基礎理論⑧						
第9週	基礎はり学・きゅう学における東洋医学概論に関する講義と問題 伝統鍼灸基礎理論⑨						
第10週	基礎はり学・きゅう学における東洋医学概論に関する講義と問題 伝統鍼灸基礎理論⑩						
第11週	基礎はり学・きゅう学における東洋医学概論に関する講義と問題 伝統鍼灸基礎理論⑪						
第12週	基礎はり学・きゅう学における東洋医学概論に関する講義と問題 伝統鍼灸基礎理論⑫						
第13週	基礎はり学・きゅう学における東洋医学概論に関する講義と問題 伝統鍼灸基礎理論⑬						
第14週	基礎はり学・きゅう学における東洋医学概論に関する講義と問題 伝統鍼灸基礎理論⑭						
第15週	まとめ						
授業外 学習指示等	1 講義に臨む前に教科書の該当箇所を読んでおき、判らない所があったらそれを書き出しておくこと。 2 復習は授業の重要事項をその日の内に振り返ること。						

令和6年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 3年	科目名	総合領域Ⅳ	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験		担当者	太田 和宏	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	1 公衆衛生学・経絡経穴概論の知識の習熟を図り、臨床現場において適切な治療やアドバイスができる土台を作る。			評価方法			
授業概要	1. 講義プリントを配布し、スライドを用い授業を行う。 2. 演習問題を用い知識の定着を図る。			期末試験 100% ※出席状況等を加味する場合もある (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	講義プリント・教科書 (衛生学・公衆衛生学、経絡経穴概論)	使用器材	プロジェクター・白板・ベッド・鍼灸治療道具				
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	上腕部の筋肉、神経、経穴部位の復習と演習①						
第2週	上腕部の筋肉、神経、経穴部位の復習と演習②						
第3週	大腿部の筋肉、神経、経穴部位の復習と演習①						
第4週	大腿部の筋肉、神経、経穴部位の復習と演習②						
第5週	頭部顔面部の筋肉、神経、経穴部位の復習と演習①						
第6週	頭部顔面部の筋肉、神経、経穴部位の復習と演習②						
第7週	衛生学・公衆衛生学 復習と演習 ① 第1章・第2章・第3章						
第8週	衛生学・公衆衛生学 復習と演習 ② 第4章						
第9週	衛生学・公衆衛生学 復習と演習 ③ 第5章						
第10週	衛生学・公衆衛生学 復習と演習 ④ 第6章						
第11週	衛生学・公衆衛生学 復習と演習 ⑤ 第7章						
第12週	衛生学・公衆衛生学 復習と演習 ⑥ 第8・9章						
第13週	衛生学・公衆衛生学 復習と演習 ⑦ 第10章						
第14週	衛生学・公衆衛生学 復習と演習 ⑧ 第11章						
第15週	衛生学・公衆衛生学 復習と演習 ⑨ 第12・13章						
授業外 学習指示等	1. 教科書のある科目については、講義に臨む前に教科書の該当箇所を読んでおき、分からない所があればそれらを書き出しておくこと 2. 復習は、特にその日の授業の重要事項をその日のうちに振り返ること						

令和6年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 3年	科目名	総合領域Ⅴ(あはき史含む)	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験		担当者	太田 和宏	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	1 あはき史の概要を説明できる。 2 高齢者の概略を理解し、高齢者に対する鍼灸治療を施せる。			評価方法			
授業概要	1. 講義プリントを配布し、スライドを用い授業を行う。			期末試験 100% ※出席状況等を加味する場合もある (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	講義プリント	使用器材	プロジェクター・白板等				
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	あはき史の概要①						
第2週	あはき史の概要②						
第3週	あはき史の概要③						
第4週	あはき史の概要④						
第5週	あはき史の概要⑤						
第6週	高齢者の概要 ①						
第7週	高齢者の概要 ②						
第8週	高齢者の概要 ③						
第9週	高齢者の概要 ④						
第10週	高齢者に対する鍼灸治療 ①						
第11週	高齢者に対する鍼灸治療 ②						
第12週	高齢者に対する鍼灸治療 ③						
第13週	高齢者に対する鍼灸治療 ④						
第14週	高齢者に対する鍼灸治療 ⑤						
第15週	高齢者に対する鍼灸治療 ⑥						
授業外 学習指示等	1 講義に臨む前に教科書の該当箇所を読んでおき、分からない所があればそれらを書き出しておくこと 2 復習は、特にその日の授業の重要事項をその日のうちに振り返ること						

令和6年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 3年	科目名	総合領域Ⅴ	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験		担当者	堀之内 貴一 柘木 明子 太田 和宏 早野 大孝	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	これまで習得した知識を応用な知識へ向上させることを目的とし、臨床の場で鑑別や病態把握ができるような知識を深める。			評価方法			
授業概要	これまで習得した知識を応用な知識へ向上させることを目的とする。			期末試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等		使用器材					
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	問題演習①解剖学						
第2週	問題演習②生理学						
第3週	問題演習③東洋医学概論						
第4週	問題演習④経絡経穴概論						
第5週	問題演習⑤公衆衛生学						
第6週	問題演習⑥臨床医学総論						
第7週	問題演習⑦臨床医学各論						
第8週	問題演習⑧臨床医学各論						
第9週	問題演習⑨東洋医学臨床論(東洋)						
第10週	問題演習⑩東洋医学臨床論(東洋)						
第11週	問題演習⑪東洋医学臨床論(西洋)						
第12週	問題演習⑫東洋医学臨床論(西洋)						
第13週	問題演習⑬総合						
第14週	問題演習⑭総合						
第15週	まとめ						
授業外 学習指示等	復習を確実にに行い、しっかりと振り返ること						